

働きぶり自己点検項目〔正規支援員2022年度版〕

要素	分野	対 利用者	対 職員	対外・事務・その他
		着眼点	着眼点	着眼点
勤務姿勢	規律性	どの利用者に対しても親愛の情が伝わるあいさつをする。	どの職員に対しても「よろしく」「ありがとう」の気持ちが伝わるあいさつをする。	来客・ボラ・業者等に対して歓迎・感謝・慰労の気持ちが伝わるあいさつをする。
		利用者に習得を促しているマナー(えらそうに言わない、嘘をつかない等)を守る。	各職員から発信される重要な業務連絡の確認を欠かさない。	来客や電話(外線・内線)の引継ぎ時、相手を不必要に待たせぬように対応する。
		虐待・権利侵害・差別だと疑われるようなことをしない。	ハラスメント(パワ、セク、マタ…)だと疑われるようなことをしない。	時間(出勤退勤、朝夕引継ぎ、会議、個別の約束等)を守る。
	責任性	身だしなみの乱れ(下着露出、服前後逆、爪・毛髪等)を見落とさない。	心身両面の自己管理に努め、業務に支障が出ないようにする。	守秘義務(利用者およびその家族、職員の“個人に関する”情報等)を守る。
		スマホ使用时、直接支援業務に支障がないようにする。	事故やクレームを招いた時、自分の非を認め、責任転嫁をしない。	期限(各書類の提出日、実行予告日等)を守る。
	協働性	必要な行動の促しや抑制を行い、その結果まで確認する。	託された業務を他職に丸投げすることなく、最後までやろうとする。	事業所全体の環境美化に関心を持ち、自発的に整理整頓やゴミ拾いを行う。
		会議等で決まった“支援の統一”に協力する。	身勝手にならないよう、関係職員への事前相談に努める。	モノやカネを動かす時のルール(備品の定物定位、伺い、復命等)を守る。
柔軟性	本人の気持ちと業務都合とのバランスを考えながら、臨機応変に対応する。	業務上の指摘や異論をも謙虚に受け止める。	裏方業務(準備・片付・洗いもの・掃除等の地味な働き)も担いチームに貢献する。	
積極性	意思表出の乏しい利用者にも激しい利用者にも近づき、意思疎通を図る。	意見が対立して協力しかねる時、歩み寄り、落としどころを見出そうとする。	自主的に勉強していること	
能力	知識・技能等	満床状態(対応の難しい短期入所含む)での夜勤業務ができる。	会議等で出席者の士気高揚と議案のゴールを目ざした発言ができる。	殆ど手直しの必要がない書類(起案書、個別支援計画書等)を作ることができる。
		転倒や窒息のリスクが高い(てんかん、高齢等)利用者の介助ができる。	会議等で分かりやすく正確にプレゼンテーションできる。	給食業者・医療機関・ボラ等と、正確な情報と親切心をもって打合せできる。
		行動制御の難しい(自閉症等)利用者が参加する活動をリードできる。	会議の世話役(日時や内容の設定、根回し等)および司会ができる。	様々な利用者の担任(家族との連絡調整含む)ができる。
		対人トラブルを仲裁し、双方が納得できるように解決する。	日中活動における軸職員を務めることができる。	幅広く業務分掌の担当ができる。
		アクシデント(深夜の利用者負傷等)発生時、状況をみて考え対処できる。	担っている実務の知識・技術を新任職員に教えることができる。	公用車を安全快適に運行させ、利用者送迎などを行うことができる。
		⚠(*)…明確なアピールだけでなく、不穏・委縮の兆候、声にならない訴えも含む。	⚠(*)…例えば、他職員の陰口を聞いた時に安易な同調をしなかった等。	
業務実績	遂行	日常生活場面で、SOS(*)や相談ごとを機敏にキャッチして援助できた。	他職員のメンタルを気遣い、相談に応じ、状態悪化を阻止できた。	事故・感染症の予防策(事故防止マニュアル、新型コロナ感染症対策等)を守れた。
		心身の健康上の異変にいち早く気づき、適切な対応を行えた。	他職員間のトラブル仲裁、あるいは、トラブル回避につながる対応(*)ができた。	裏方業務全般を丁寧確実にかつスピーディに行えた。
		直接支援を確実丁寧に(事前および事後の目や耳での確認含む)行えた。(質)	適時的確に報告・連絡(引継ぎ、ケース入力、帰省変更、事故ヒヤリ等)を行えた。	担任利用者の身辺(衣類、居室等)を良好に保てた。(担任数・難易度も考慮する)
		直接支援を広い視野(男女問わず)を持ってスピーディに行えた。(量)	他職員の不在・不調・未熟・ミスを自発的にカバーし、全体日課遂行に貢献できた。	担当する業務分掌の定型業務を確実に行えた。(業務量・難易度も考慮する)
		自由時間等、それぞれの安心・笑顔が増すように、“うるおい”を提供できた。	新しい取組みに際し、種々の意見をとりまとめ、調整して前進させることができた。	
	担任利用者の個別支援における発信・実践・検証を的確に行えた。	諸計画(外出支援、個別支援等)の相談・起案を受け、的確な助言ができた。		
改善	自らの提案や実践によって改善が見られたと思うこと			

満点を求めているのではありません。

自分にできていないことを他の誰かが担ってくれていることに気づける謙虚さと、それに感謝する姿勢を保ちましょう。

また、誰にでも休暇・休職・時短勤務等の必要な事情が生じ得ます。お互い様おかげ様の精神も大切にして、気持ちよく乗り越えていきたいものです。

開所時から大切にしている勤務姿勢(あおぞらタイムズ49号より)

職務の範囲は施設として行うべき業務の全てとする。個々の業務はあくまで主たる業務に過ぎず、利用者の満足・施設の正常な運営のために必要な場合には、主たる業務範囲を超えて業務を行う。